

小野町教育環境検討委員会を発足



第1回目の検討委員会

将来を担う子どもたちに よりよい教育環境を 提供するために

7月12日、役場会議室において、小野町教育環境検討委員会を開催しました。

この委員会は、少子化社会に適応した次世代育成支援と小野町の未来を担う人づくりのために、教育環境ならびに教育施設のあり方について総合的に検討する目的で設置しました。

委員会では、教育施設の
適正規模・適正配置
施設整備或いは統廃合
について検討し、町長に提言を

行います。

会議に先立ち委員25名へ委嘱状を交付しました。

町長は、「行財政改革もあるが、子どもたちにとって環境で勉強してもらうことが一番良いのか教育環境を優先に考えて頂きたい」とあいさつ、続いて教育長からは、「小野中学校の老朽化の問題、分校或いは複式学級などの課題が山積している中で、当委員会は将来の町づくり、人づくりに関わるものであるため、活発にご検討頂きたい。」とあいさつしました。

会議では、検討委員会の設置の目的について説明を行い、委員長に佐久間林作委員を、副委員長に富瀬政秀委員を互選しました。

次に現在の教育施設の現状と整備の必要性について説明を行った後、意見交換と協議を行いました。

委員会では、今後数回にわたる協議を開催し、教育環境の将来的な方向性を委員会の提言として年度末を目標に取りまとめる予定です。

なお、今回委員に委嘱された方々は次のとおりです。

佐久間林作（皮籠石）
（敬称略）

- 富瀬 政秀（中通）
- 佐藤 安憲（浮金）
- 鈴木 裕子（浮金）
- 生天目正人（浮金）
- 國分 幸夫（小戸神）
- 折笠 一郎（小戸神）
- 吉田 栄孝（小野山神）
- 館川 正人（吉野辺）
- 吉田 一寿（飯豊下）
- 塩田 正雄（飯豊上）
- 村上 和行（谷津作）
- 阿部 君江（本町）
- 草野 典子（塩庭一区）
- 佐藤 耕司（雁股田）
- 荻野 一江（雁股田）
- 小野 一男（雁股田）
- 松本 仁（夏井）
- 長久保喜伸（湯沢）
- 横田 貞子（南田原井）
- 大竹 昌子（塩庭二区）
- 吉田 栄平（上羽出庭）
- 駒木根幸一（上羽出庭）
- 吉田富士子（和名田）
- 矢内今朝見（荒町）

ブナの原生林を守ろう！ 吉野辺地区の皆さん

7月3日、吉野辺川の源流にあるブナ林を守ろうと吉野辺愛林組合（館川明組合長）の皆さん約20名が、ブナ林の下草刈り作業など山林整備のボランティア活動を行いました。



ボランティア作業を終えて一息の皆さん

このブナ林は高柴山の山頂から南側尾根伝いの国有林地内に生育しており、ブナの木が群生し、樹齢70年程度の大木もあり、ブナの原生林は当地域には珍しいことから、子どもたちのために、水源涵養や「環境教育」の最適のフィールド（場所）として保存をしていきたいと計画しているものです。

この日は朝早くから、各自持参した下刈り機などを使い、国有林を管理する福島森林管理署の指導のもとに作業を行いました。小野町の中心市街や吉野辺地区を一望できることとなり、作業の成果を確認しました。

吉野辺の皆さんは、閑場地区から見える高柴山を、その姿形から「吉野辺富士」と称して親しんでおり、昨年は、ツツジの名所の高柴山に吉野辺字大平地区からの新しい登山道を整備するなど、行政区長さんを中心に、

観光開発や地域整備活動に意欲的に取り組んでおります。広報紙上から感謝を申し上げます。

飯豊ひまわり保育園 保護者研修 「就学前教育」

飯豊ひまわり保育園では、7月2日保護者研修として、飯豊小学校、遠藤さとみ校長先生を講師にお迎えして「就学前教育について」と題して講演会を開催しました。

校長先生のお話の中では、「小さい頃のは、意識しなくても覚えているので、ぜひ「読み聞かせ」をしてほしい。また、小学校入学前に、泥んこ遊び、鬼ごっこ、遊具、草花遊び等を経験することにより、ルールがあることを知り、それを守るといふ社会性が育つ。

そして、何よりも母親の笑顔が一番、楽しみに子育てをしてほしい」と体験談をまじえながらのお話でした。

保護者の方も熱心に耳を傾け、就学前教育の大切さ、子育ての大切さを改めて見つめ直す良い機会になりました。保育園でも体を使った遊びを存分に取入れ、のびのびと活動できるよう、見守っていききたいと思います。



遠藤飯豊小学校校長先生の講演